

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2016年2月21日 第209号

—奥村のり子生活相談所—

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11

☎ & FAX 073-427-7121

Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



後期高齢者の医療保険料
引き下げが実現します

和歌山県後期高齢者医療広域連合が、2016・17年度の保険料について、一人当たりの平均保険料額1456円の引き下げを明らかにしました。これまでみなさんとごいっしょにさまざまな社会保障費負担の軽減を求め、がんばってきた結果のひとつです。

予算委員会などでこれまでも医療費伸びを過大に見込んでの保険料値上げについて指摘をして参りました。「県広域連合」の医療費推計は依然として国の推計より大きいものです。さらに引き下げを求めて行きたいと思えます。

戦争法廃止の署名で是全力

各地区の後援会のみなさんと戦争法廃止をもとめる2000万署名にほぼ毎日取り組んでいます。

話し込んでしまい1日5筆という日もありますが広げていただけるように返信用封筒と署名用紙を数枚お渡ししています。先日、選挙ではいつも日本共産党を支持して下さる方が署名に応じていただけませんでした。ご商売をされているので店先ではお話しできず帰ってきました。ぜひ、つどいを開いて来ていただくかと思っています。選挙は「もちろん支持します」と言われる方からの



「戦争は嫌だけど、中国や北朝鮮から責められたらどうするの?」という不安の声も結構あります。こうした疑問は玄関口で話し合ってください。一言でわかってもらえるように工夫したいと思います。

(奥村のり子)

甘利氏「口利き」疑惑に続き

閣僚の問題発言や不倫騒動の自民党

今国会で甘利氏「口利き」疑惑関連で「補償額20億要求」「高級車要求」とか飛び出す中、女性閣僚の問題発言が連続です。①高市早苗総務相は放送局が「憲法を守れ」と繰り返し放送した場合は「罰則規定」として「電波停止」を命じる可能性まで言及。「放送法や言論、表現の自由を踏みこむ暴言」。②丸川珠代環境相は長野県松本市の講演で「『反放射能派』の人たちが騒いだ中で、国が除染の長期目標として定める年間被ばく線量1ミリシーベルトは何の科学的根拠もない」と暴言。抗議に一度は拒否したが、12日には撤回発言。③島尻安伊子沖縄北方担当相が千島問題で「歯舞(はほまい)諸島」の漢字が読めず醜態。上智大学卒、北方担当相たる者が歯舞を読めないとは大臣失格です。過去には沖繩問題で大臣の資質が問われる問題発言もあります。

最後に閣僚ではないが、④「育児休暇めざす」宮崎某氏是不倫騒動で議員辞職。テレビの視聴率稼ぎに覚せい剤疑惑の男と競い合つて貢献。政界であれ、スポーツ界であれ人間社会の常識さえ守れない典型の人物だから馬鹿馬鹿しい。「そもそも衆議院は圧倒的多数は小選挙区で自民党は票さえ稼げば、政治歴などお構いなく誰でも公認し、時の風で当選する劣化した議員が生まれる」とテレビで語る政治評論家は正解でしょう。(編集室)

のり子の週刊日誌—主なもの—

- 2月19日 会議、市駅前て前進座とともに署名行動 地域訪問 演観
- 20日 働く女性の県集会、二胡演奏会
- 21日 シュニア駅伝
- 22日 議会準備
- 23日 本会議
- 24日 休会、会議
- 25日 本会議、常任委員会、無料法律相談

党県議団は、12月に提出した予算要求の回答書をもとに、全部局と懇談し県民の暮らしと地域経済を守るよう要望しました。

子育てシンポジウム

2月7日、田村智子参議院議員を招いて、子育てシンポジウムを行いました。

百二十人を超える方々の参加で用意していた椅子が足りなくなるほどでした。

私は、司会をさせて頂きました。

田村さんは、国の子どもの貧困対策が、子育て支援の枠を出ておらず貧困対策になっていないと指摘し、子どもの貧困問題の解決には、子どもに自己責任をおわせてはならないという立場を土台とした対策が必要とのべられました。大人

子どもの貧困問題など深めました



大勢ご参加頂きました

の責任を不問に出来ない場合もあるだろうが、それが子どもへのしわ寄せになってはならず、なおさら社会的な支援が必要と話されました。

また、小児科医や子育て中のママ、ボランティア活動を通じてなど、3人のパネラーから実態の報告をして頂きました。

◆お知らせ◆

本欄執筆者の一人、大門みきし参院議員は肝臓の腫瘍の治療のため入院中です。経過は順調で近いうちに完全復帰される予定です。(2月13日付日刊「赤旗」より)

党市議会議員

中村あさと

